

海賊対処の第29次派遣航空隊が無事任務を終え帰国する

～ 派遣海賊対処行動航空隊（第29次隊）帰国行事の様 ～

ソマリア沖・アデン湾における海賊対処のため、第29次派遣海賊対処行動航空隊が、昨年10月18日に日本を発って以来、約4か月ぶりとなる2018年2月4日に海上自衛隊鹿屋航空基地（鹿児島県）に帰投した。

同隊は、先に派遣された第29次派遣海賊対処行動水上部隊の護衛艦「せとぎり」と共に、アデン湾にて監視活動に従事した。

帰国行事では、防衛大臣訓辞を中村敏弘第一航空群司令が代読し、山下万喜自衛艦隊司令官より帰国派遣隊員へ訓示された。

当協会赤峯副会長（国際船員労務協会会長）ほか7名（日本船主協会6名、国際船員労務協会1名）が参加し、赤峯副会長より派遣隊の指揮官らにお礼を申し上げるなど、航空隊隊員のご活躍に対しあらためて感謝の意を表した。

なお、今回の帰投をもって、鹿屋航空基地からの航空隊の派遣は終了となり、今後は、八戸、那覇の両航空基地からの派遣となる。

（海務部 大森）

帰国行事



派遣された P-3C 哨戒機



式場に入場する派遣隊員



訓辞を代読する中村第一航空群司令



派遣隊員に訓示する山下自衛艦隊司令



挨拶する赤峯副会長



派遣隊を横断幕と共に迎える当協会関係者